【様式２】

平成28年度CO2削減ポテンシャル診断結果を活用した新たな削減対策等検討委託業務に関する

企画提案書

代表事業者

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名 |  |
| 住所 |  |
| 部署・所属 |  |
| 提案書作成責任者氏名 |  |
| 電話番号 |  | FAX番号 |  |
| メールアドレス |  |

共同事業者　※複数事業者が共同で提案を行う場合

(作成注)企業名/団体名及び所属、氏名、電話番号、ＦＡＸ番号、メールアドレスを記載してください。３者以上の企業・団体が共同で提案を行う場合は、適宜表を追加してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名 |  |
| 住所 |  |
| 部署・所属 |  |
| 担当者氏名 |  |
| 電話番号 |  | FAX番号 |  |
| メールアドレス |  |

はじめに

　本書は、平成28年度CO2削減ポテンシャル診断結果を活用した新たな削減対策等検討委託業務公募要領を遵守し、その実施方法等に関する提案を行っていただくものです。また、本業務の実施に当たっては、本提案書を基にして業務を行うものとしてください。

　なお、提案書作成に当たっては、以下の内容を熟読した上で、可能な限り具体的な内容を記載してください。

・平成27年度に策定した「CO2削減ポテンシャル診断ガイドライン」

【掲載場所】<http://co2-portal.env.go.jp/guideline>

・過年度（平成22年度～平成27年度）に実施したCO2削減ポテンシャル診断事業の分析結果報告書

【掲載場所】<http://co2-portal.env.go.jp/moe-report>

１．業務の基本方針

　公募要領を踏まえ、業務を行う基本方針を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

※Ａ４版１枚以内とします。

２．業務の実施方法

２－１．業態とCO2削減余地がある工程・システム等の特定

（１）環境省が策定した「CO2削減ポテンシャル診断ガイドライン」や平成22年度から平成27年度に実施したCO2削減ポテンシャル診断事業の分析結果報告書に基づき、CO2削減ポテンシャル診断ガイドラインで示されている22区分の業態のうち、５～７の業態を選定するとともに、その選定理由を併せて記載してください。

|  |
| --- |
|  |

※Ａ４版２枚以内とします。

　（２）（１）で選定した各業態が採用している様々な工程、システム及び設備等を整理し、本業務において調査・検討する工程・システム及び設備等を選定する考え方、手順、方法等を具体的に記載してください。

|  |
| --- |
|  |

※Ａ４版数枚程度を目安とします。

２－２．新たな二酸化炭素削減可能性調査

 ２－１．で選定した業態ごとに、新たな削減の可能性がある工程、システム及び設備等において、「CO2削減ポテンシャル診断ガイドライン」を活用し、効果的な削減対策が導入されていないプロセス、設備・システム等を特定するための調査・測定等具体的な実施内容を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

※Ａ４版１枚以内とします。

２－３．新たな二酸化炭素削減対策の検討

 ２－２．の結果をふまえ、技術的課題、経費的課題（初期投資額、費用対効果、維持管理費等）、信頼性に係る課題（設備等の技術的・効果的信頼性不足、精度不足等）及びその他の課題等の視点から、削減対策が導入されていない要因を明確にする検討方針とまとめ方を具体的に記載してください。

|  |
| --- |
|  |

※Ａ４版１枚以内とします。

２－４．各課題における削減対策の導入に向けた検討

（１） 技術的課題における削減対策の検討と導入に向けた提案

削減対策が進まない要因が技術的課題にある工程、システム及び設備等について、課題を解決する効果的な削減技術の検討と導入への提案を示す具体的な手順等を記述してください。

|  |
| --- |
|  |

※Ａ４版１枚以内とします。

（２）経費的課題における削減対策の検討と導入に向けた提案

削減対策が進まない要因が経費的課題にある工程、システム及び設備等について、課題を解決する効果的な対策の検討と導入への提案を示す具体的に手順等を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

※Ａ４版１枚以内とします。

（３）信頼性に係る課題における削減対策の検討と導入に向けた提案

削減対策が進まない要因が信頼性に係る課題（設備等の技術的・効果的信頼性不足、精度不足等）にある工程、システム及び設備等について、課題を解決する効果的な対策の検討と導入への提案を示す具体的な手順等を記述してください。

|  |
| --- |
|  |

※Ａ４版１枚以内とします。

（４）その他の課題における削減対策の検討と導入に向けた提案

効果削減対策が進まない要因が上記（１）～（３）以外の課題にある工程、システム及び設備等について、課題を解決する効果的な対策の検討と導入への提案を示す具体的な手順等を記述してください。

|  |
| --- |
|  |

※Ａ４版１枚以内とします。

２－４．ロードマップの策定

　２－１.～２－４.を踏まえ、削減対策の導入に向けたプロセスを作成する手順等を具体的に記載してください。この際、業種やCO2排出源毎の特徴や注意点等も留意した記載をしてください。

|  |
| --- |
|  |

※Ａ４版３枚以内とします。

２－５．有識者や専門家による検討会の設置

　本業務において有識者や専門家による検討会等を設置する場合は、その必要性と役割並びに検討会委員の構成員案（氏名・所属・職責・専門分野等を可能な範囲で）を具体的に記述してください。

|  |
| --- |
|  |

※Ａ４版１枚以内とします。

２－６．資金調達方法

　本業務を実施するに当たり、必要な資金調達方法を記載してください。

|  |
| --- |
| 例：自己資金金融機関（○●銀行）からの融資関連会社（○●（株））からの調達等。 |

※Ａ４版１枚以内とします。

（注） 「２．業務の実施方法」の記載に当たっては、過年度（平成22年度～平成27年度）に実施したCO2削減ポテンシャル診断事業の分析結果報告書でも明らかにされているような内容の繰り返しとならないようご注意ください（審査において、業務内容に対する理解度が低いと判断される場合があります）。

３．業務の実施スケジュール

　提案する業務の具体的なスケジュールを記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 時　期 | 内　　　　　容 |
|  |  |

※Ａ４版２枚以内とします。

４．本業務成果の活用

本業務の成果に基づき、CO2削減ポテンシャル診断の普及にどのような影響を及ぼし、効果が期待できるか、今後の民生・業務分野等における地球温暖化対策への貢献について具体的に記述してください。

|  |
| --- |
|  |

※Ａ４版１枚以内とします。

５．法令遵守・コンプライアンス等を確保するための体制

　本業務を実施するに当たっての法令遵守・コンプライアンス等を確保するための体制を具体的に記述してください。

|  |
| --- |
|  |

※Ａ４版１枚以内とします。

６．業務の実施体制

本業務の実施体制及び業務分担について、Ａ４版１枚以内で図を交えて作成してください。

|  |
| --- |
|  |